

理事長挨拶

学校法人 加計学園
理事長・総長 加計 晃太郎



本学園は「ひとりひとりの 若人が持つ能力を 最大限に引き出し 技術者として 社会人として 社会に貢献できる 人材を養成する」という建学の理念のもと、これまでさまざまな分野での教育研究、学際領域の研究、高大連携教育、海外の大学をはじめとした教育機関との交流協定に基づく教職員、学生生徒の相互研修による国際感覚の養成等による人材養成を行っています。

政府が、経済再生と並ぶ日本国の最重要課題として、21世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行に移すことを目標に、「人づくりは、国づくり」と位置づけた教育再生実行会議で教育問題に取り組む中、私ども私学関係者もこの取り組みと連動し、来たるべき新時代に活躍できる人材養成に努めているところです。

本学園におきましても、その一環として、昨年度、岡山理科大学に教育学部を開設、さらに今年度は経営学部を4月に開設し、永年にわたって培って参りました教育研究のノウハウを活かして「マーケティングとデータサイエンス」双方に強い人材育成に努めました。さらに、獣医学部新設については、広島県・今治市国家戦略特区での特定事業の事業主体として、獣医学部設置認可申請を行い52年ぶりとなる認可を頂きました。

また、倉敷芸術科学大学におきましても今年度4月に西日本初の危機管理学部を開設し、経済・経営学をベースとして現代社会で発生している、あるいは発生するであろう、金融、経済、産業、自然等々の問題に対応できる危機管理のエキスパートを養成して参ります。

このほかにも、各設置校におきまして、来たるべき新時代に対応できる人材育成のために、短期的な計画のみならず中・長期のビジョンを持って既存の学部・学科における教育研究体制・施設の充実を推進しています。また、学部・学科の改組、新コースの設置、地元地域と連携することで開かれた大学をめざす等々の取り組みを積極的に推進することにより、地域貢献、社会貢献、ひいては平和社会への実現に向けての尽力等々に取り組んで参りたいと考えております。

今年度も学園ならびに各設置校におきまして、以上のことを念頭に、教育事業を展開しつつ、魅力ある学園づくりに努めました。